

さっぽろのうがっこう 札幌農学校

明治初期の高等農業教育機関。北海道大学の源流。開拓使顧問・H. ケプロンの建策により、北海道開発に従事する人材育成のため1872年(明治5)東京に開拓使仮学校が開設された。同校は75年札幌に移転して札幌学校と改称、さらに翌76年札幌農学校と改称した。アメリカ人教師が指導したが、とくに初代教頭として就任したマサチューセッツ農科大学長・W. S. クラークの影響は大きく、技術者のみならず内村鑑三、新渡戸稲造らの思想家を生んだ。その後、1907年に東北帝国大学農科大学となり、18年北海道帝国大学の創

設にあたり、その中核として北海道帝国
大学農科大学となった。▶▶北海道大学
佐々木 享